

人力運搬機を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 （小） コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
1999	3	13 ～ 14	火葬場において、棺を載せる台車の裏面についているスプリングを交換するため、レール上の台車と床との間に体を入れ仰向けの状態で作業を行っていたときに、台車がレールから落下してきて下敷きとなった。	150104	4	50～ 99
1999	4	4 ～ 5	自転車で新聞配達を行っていて、市道上においてバランスを崩して転倒し、頭を強打した。	80205	17	10～ 29
1999	11	9 ～ 10	工場内にあった積荷(医療機器：重量約1トン：高さ2m, 幅1.8m, 厚さ約20cm)を、ハンドリフト(積載重量1.5トン)で移動して、目的の場所に到達して停止したときに積荷がバランスを崩し床にたおれたため、その下敷きになった。	11709	5	10～ 29
2000	10	10 ～ 11	展示物設置工事において、床に基準線を墨で付ける作業を行うときに、ビル本体に使用するガラス(1枚100kgでパレットに11枚)が乗せられたガラスパレット2つがその作業の邪魔になったので、ハンドリフターで移動中に、ハンドリフターごとガラスパレットが前方に転倒し、その下敷きになった。	30203	5	10～ 29
2000	6	18 ～ 19	3tトラックのパワーゲートを使ってドリンク剤21ケースを入れた籠台車(100kg超)を積み込んでいるときに、パワーゲートと荷台の隙間(6cm)に車輪が挟まったので外そうとしていたところ、籠台車がパワーゲートから落ちて籠台車を荷台と反対側から支えていた者に倒れ掛かってコンクリートの床に荷をかぶる形で倒れた。	80109	4	10～ 29

2000	12	5 ～ 6	自転車で朝刊の配達中、渋滞していた車の間から道路を横断しようとして乗用車にはねられた。	80205	17	50～ 99
2000	12	11 ～ 12	工場の梁上約12mに設けられた空調機のコイル(質量約30kg)を梁上に設けた運搬用台車に運搬していたときに台車端の開口部から工場床に墜落した。	30302	1	1～9
2001	1	21 ～ 22	プレスの金型(重さ約500kg)を台車(高さ約160cm)に乗せ、同僚と台車を移動させようとしたときに、金型が腰部に滑り落ちその下敷きとなった。	10805	4	30～ 49
2001	9	16 ～ 17	構内の荷捌場において、ロールボックスに荷(質量約350kg)を積み込み引いて別の場所へ移動させていたときに、ロールボックスが倒れその下敷きになった。	40301	6	30～ 49
2001	10	11 ～ 12	2. 5tフォークリフトで工業用の空気清浄機ボックス(質量約800kg)を台車に載せ、手押しで、台車ごと動かしたときにボックスが転倒して胸部をボックスと床面との間に挟まれた。	11709	5	30～ 49
2001	11	0 ～ 1	営業活動のためバス停でバスを待っていたときに、通行中の自転車が接触して転倒し頭を強打した。	170209	17	10～ 29
2002	2	4 ～ 5	自転車で朝刊の配達中、農道において転倒して胸を強打し3日後に死亡した。	80205	17	30～ 49
2002	2	10 ～ 11	加工を終えた鉄板(厚さ0.35mm 829枚 重さ269.4kg)をキャスター付き作業台に載せて次の工程に鉄板を運ぶため、作業台を手前に引いたところ作業台上の鉄板が崩壊し鉄板の下敷になった。	11301	5	30～ 49
2002	1	11 ～	事務所の引越しでビル内に荷物を搬入するため、コンビテナー(84×64×高さ138cm、パイプ製天井無しのカゴ型人力運搬機)に長さ180cm、質量約20kgの机天板16枚を載せて2名で運搬中、36cmの段	50101	5	100 ～

		12	差部分に長さ242cm、厚さ2cmの板を架けたスロープ（傾斜角約10度）の個所でコンビテナーが後方に転倒し、後方で押していた者が下敷きになった。			299
2002	9	18 ～ 19	米・麦を貯蔵しておくサイロのある倉庫のシャッターを閉めるスイッチを押したときに、乗っていた自転車とその籠に乗せられていた9.5kgの米ごと転倒しシャッターに首を挟まれた。	170209	7	300 ～ 499
2002	11	5 ～ 6	新聞配達のため道路を横断していたときに、無灯火の自転車に衝突されて転倒し頭部を強打した。	80205	17	50～ 99
2002	9	9 ～ 10	雇用保険の手続に行くため自転車で走行中、コンクリート製の車止め に右ペダルが接触したためバランスを崩し転倒した。	10109	2	30～ 49
2003	5	13 ～ 14	事業場寄宿舍で賄いの業務を行っている者が、自転車で夕食の食材を 買い物に行く途中の路上で走行中の自動車との接触を避けようとして 転倒し、右側頭部から後頭部を強打した。	30104	17	1～9
2003	6	4 ～ 5	自転車で新聞の配達途中、運転を誤り道路（幅約4m）脇の用水路（幅 47cm、深さ65cm、水深約50cm）に自転車とともに転落し溺死した。	80205	17	10～ 29
2004	8	16 ～ 17	工場内の壁際に設置してあったベンダー（プレスブレーキ）を建物の 外に出すため、ハンドリフトを使用中に、ベンダーが倒れ、作業中の 被災者が隣にあった旋盤との間に挟まれた。	11209	6	1～9
2004	8	10 ～ 11	購入した旋盤（重量1.5t）を工場内に設置するため、台車を使用し搬入 していた時、工場入口のスロープ（勾配5度）を斜め（勾配3度）に、 台車の取っ手部分を前方にして上らせていた。台車がそのスロープを 上りきったとき、台車の荷台に載っていた旋盤が被災者の方へ傾き、 そのまま旋盤の下敷きとなった。	11102	6	10～ 29
		0				300

2004	10	1	自転車で行中、電柱に左ハンドルが接触し転倒した。	150101	17	～
2004	1	6 ～ 7	自転車で新聞配達中に滑って転倒した。	80205	2	1～9
2004	7	6 ～ 7	自転車を運転して新聞を配達中、アスファルト舗装された町道の坂道（勾配約5度）を下っていたところ、カーブを曲がりきれずに町道を飛び出したため、5.8m下の町道に転落した。	80205	17	10～ 29
2005	4	15 ～ 16	倉庫奥に置かれていたプレート式熱交換器のフレーム（重さ800kg）を屋外に運搬するため、ハンドリフト2台で運搬途中に、レベル調節のためパレット上に置いた垂木がずれたため3人がかりで当該フレームを持ち上げ、垂木を直していたところ、フレームが倒れ、被災者が下敷きとなった。	10101	5	30～ 49
2005	7	13 ～ 14	自転車で走行中、見通しの悪い交差点でワゴン車と衝突した。	110101	17	10～ 29
2005	4	5 ～ 6	新聞配達作業のため、自転車で地下道内を走行中、バランスを崩し、自転車ごと転倒した。	80205	2	30～ 49
2005	7	6 ～ 7	片側1車線の道路を、原動機付き自転車（バイク）で走行中、左側道路より自転車が一時停止をせずに飛び出して来たため、それを避けようとしたが、自転車の一部と接触した後に転倒した。	80205	17	10～ 29
2005	6	11 ～ 12	トラックの荷台からカゴ車に載せた荷物をフォークリフトで降ろす作業中、荷台から降りてカゴ車の位置を修正するため、引っ張ったところ、カゴ車が荷台から落下して下敷きとなった。	40301	4	10～ 29
		11	工場2階から1.5トンの保管棚をハンドリフトに載せてエレベーターで1階に下ろした後、被災者がエレベーターから当該ハンドリフトを後ろ			50～

2005	5	～ 12	向きで出したところ、エレベーター前の床が下り勾配のため、自重で速度が増し、勾配が戻ったところでハンドリフトが止まったことから、当該棚が倒れて被災者が下敷きとなった。	30302	6	99
2005	6	2 ～ 3	手押し運搬台車の荷の上に乗る、上の袋を取ろうとした際、台車が動きバランスを崩して墜落した。	10805	1	10～ 29
2005	3	11 ～ 12	自転車で走行中、トンネルを出たところで対向してきた他の自転車と衝突し、転倒した。	130201	17	1～9
2006	2	10 ～ 11	産業廃棄物処理作業場で、ビニールを圧縮・梱包する機械（幅90cm、奥行74cm、高さ240cm、重さ790kg）をハンドリフトを使用して引いて移動する際に、床面の異物で進まなくなったため、手伝いに来た被災者が機械の左側面を押している時に、不安定であった機械が被災者側に倒れて下敷きになった。	150102	6	1～9
2006	2	13 ～ 14	機械の架台（重さ300kg弱、高さ164cm、幅117cm、奥行き85cm）を手押し台車で移動する際に、台車を引いていた被災者の上に架台が倒れ、下敷きになった。	11301	5	30～ 49
2006	4	7 ～ 8	被災者は、自転車で新聞配達を行っていた。配達先移動のため、田んぼの中の舗装道路を自転車で走行中に、約2メートル下の田んぼに自転車ごと転落した。転落した際にうつ伏せだったため、田んぼの泥に埋まり、死亡した。	80205	17	50～ 99
2006	7	20 ～ 21	被災者は、固形カレールー約120kg（200g×60個入りの段ボール10箱）が積まれた台車を両手で牽引して店外在庫置き場から店内へ後ろ向きにスロープ（14度下り坂）を移動しているときに、台車が被災者側に倒れて当たり、台車とともに倒れた。	80209	5	30～ 49
2006	8	5 ～ 6	被災者は自転車で乗り、新聞配達にまわっていたところ、道路の側溝（幅約150cm、高さ約60cm）に転落し、強打した。	80205	17	10～ 29

2006	12	9 ～ 10	取引先事業場の駐車場に貨物自動車（最大積載量3.35トン）を停車させ、荷台に積載したオートバイのホイールを入れた可動式移動台車（約500kg）6台をフォークリフトを使用して搬入作業中に、荷台から落下した台車の下敷きになった。	40301	4	10～ 29
2006	12	23 ～ 24	カゴ型台車（1.1×1.1m、重量約500kg）を一人でトラックに積み込もうとしていたところ、トラックの荷台の隙間にカゴ型台車が引っ掛かり、台車が転倒しその下敷きになった。	40301	6	100 ～ 299
2007	12	23 ～ 24	食肉の入った段ボール箱10数箱（総重量100kg）を積んだコンビ台車を4tトラックからトラックに備え付けられたパワーゲートを経てプラットホームへ移動させようとしたところ、コンビ台車が倒れ、被災者に激突した。	40301	5	50～ 99
2007	11	14 ～ 15	得意先倉庫において、冷蔵冷凍車（最大積載量6.1t）に荷（原卵5,400個）を積み込む作業をしていた被災者が、キャスター付き卵ラック（大きさ91×65×189cm、約480kg（荷を含む））の下敷きになっているところを発見された。	40301	5	10～ 29
2007	10	10 ～ 11	台車にガラス（1235mm×739.5mm、厚さ2.8mm）50枚（約320kg）を台車の前方向に立て掛けて載せ、後ろ向きに台車を引っ張って運搬していたところ、床面にある配線のピットの蓋の段差で台車が引っかかり被災者は尻もちをつく状態で転倒し、台車が被災者の上へ転倒して被災者が下敷きとなってはさまれた。	10902	2	10～ 29
2007	7	12 ～ 13	事業場構内の休憩室前で、作業場に戻るために自転車に乗ろうとしたところ、バランスを崩して転倒した。	11502	2	30～ 49
2008	5	11 ～ 12	鉄道用の地中電線管路敷設工事において、地質調査のため道路の試し掘りをしていた。試し掘りした箇所に土止めとして使用する矢板47枚約500kgを台車に積み、人力にて運搬していたところ、台車が道路から脱輪した。そのため、道路に戻そうと外側から台車を押していたとこ	30199	5	1～9

			ろ、道路外側のU字溝に足をとられて転倒し、転倒したところに台車に積み上げられた矢板が崩壊して、被災者を強打した。			
2008	2	9 ～ 10	被災者は、本社で行われる会議に出席するために自転車で自宅から最寄り駅に向かう途中、交差点を直進したところ、左方から交差点に直進してきた自転車と出会い頭に衝突したため入院加療していたが死亡した。	80209	17	1～9
2008	11	17 ～ 18	電動アシスト三輪自転車で新聞配達中に深さ1.8mの用水路に転落して死亡した。	80205	17	10～ 29
2008	2	12 ～ 13	田植え機械の車輪製造工程で被災者は、鉄製車輪に接着剤を塗布した後、車輪にゴムを貼り付けるために台車に車輪を積載して台車を押して工場内に搬送していた。その際、台車のバランスが崩れて台車が転倒し、台車と地面の間にはさまれて死亡した。	10806	2	100 ～ 299
2009	10	21 ～ 22	営業終了後のホームセンター内にトラック運転者がひとりで、商品（合板25kg×16束、計400kg）を載せた「かご台車」をトラックのリフター（勾配7度）に積み込む作業中に、かご台車がトラック運転者の上に倒れて下敷きになった。	40301	5	1～9
2009	12	8 ～ 9	被災者は、トラックを運転して自動車部品を輸送し、台車（自動車部品を積んだ車輪付き台車、約390kg）を降ろそうとウイング貨物トラックの荷台からフォークリフトを使用して一人で作業をしているときに、降ろそうとしていた台車の隣の台車が何らかの原因で地上に落ち、被災者がその台車の下敷きになった。	40301	5	10～ 29
2009	7	9 ～ 10	舞台装置等の製作所（倉庫）において、ダンス発表会で使用した舞台資材（コンパネ）約180kgを柵付台車（カーゴ）に乗せて被災者を含め4人で搬入作業中、柵付台車が倉庫床面傾斜部（勾配10度）で進行方向側へ転倒した。同台車を押すため左前にいた被災者が転倒した台車と倉庫床面にはさまれた。	170209	6	30～ 49
			油圧ハウジング（制御盤、重量950kg）を撤去し、ハンドリフトで搬出			

2009	2	13 ～ 14	作業中、狭あいな場所から搬出するためにハンドリフトに積んだ油圧ハウジングの位置をずらす際、油圧ハウジングのバランスが崩れ、介添えをしていた被災者の方へ倒れてこのハウジングの下敷きとなった。	30301	5	1～9
2010	1	13 ～ 14	被災者は、自転車で集金後の帰社途中、信号も横断歩道もない国道を渡ろうとしていた。先の交差点が赤信号となっているため停車している車列の間を横断していた時、右折可の信号となっていたことから右折しようとして交差点へ直進していたバスと衝突し、死亡した。	170209	17	1～9
2010	3	4 ～ 5	自宅より自転車にて新聞配達を開始した被災者は、数件の配達を行った後、T字路で左折したところ、バランスを崩して歩道脇の水路（土手部分高さ160cm、傾斜約30度、水路部分高さ110cm、水深20cm）に自転車ごと転落し、水路の底で額を打って失神、そのまま溺死したものである。	80205	17	10～ 29
2010	4	4 ～ 5	自転車で新聞配達中に、道路を右折しようとした際、誤って、道路手前の角にある町役場が管理する高さ1.83mの段差のある敷地内に自転車ごと墜落し、4日後に死亡したものの。	80205	1	1～9
2010	5	13 ～ 14	被災者は、送迎車で医療機関の患者を自宅に送る業務を行っていた。患者自宅前に到着し、自宅前の道路に停車し、車から降り、道路を横断し、家族に到着を知らせるために患者自宅に向かっていたところ、走行中の自転車（マウンテンバイク）に激突され、道路に頭部を強打した。救急車で搬送され、約2カ月後に死亡したものの。道路を横断する時に左右確認を怠り、また、自転車側は前方確認が不十分であった。	40209	17	1001 ～ 9999
2010	7	5 ～ 6	自転車を使用し新聞配達を行っていた被災者が三叉路へ出たところ、右方から来た出勤途中の自動車に激突され死亡した。	80205	17	50～ 99
2010	7	9 ～	被災者は営業所からビルメンテナンス作業場所へ自転車で出張作業に向かう途中、信号のない交差点内でトラックにはねられ、病院に搬送	170209	17	10～

		10	されたが頭部を負傷し死亡した。			29
2010	7	16 ～ 17	被災者は新聞代の集金のため自転車で業務を行っていたところ、急なこう配の坂を下り、減速しようとブレーキをかけようとしたが、整備不良によりブレーキが効かず、人家の塀に激突し全身を強打した。病院に運ばれたが、次の日に死亡した。	80205	17	10～ 29
2010	9	6 ～ 7	1人でトラックへ台車を積み込む作業中、トラック内にパレットが放置されていたため予定の数量の台車を積み込むことができず、トラック片側の扉を上げ、フォークリフトを用いて当該パレットを抜き取っていたところ、トラックへ既に積み込んでいた台車（約300kg）が動き出したため、フォークリフト運転席から慌てて降りて台車を押さえようとしたが、押え切れず、荷台から台車が落ち、下敷きとなり死亡したものの。	40301	4	10～ 29
2011	11	11 ～ 12	工場内に設置された包装を行う機械（重量約1トン、長さ3.5m、幅0.6m、高さ1.9m）を撤去するため、機械の足4か所を小型台車4台に載せて機械前方に1名、機械後方に2名で機械を移動しようとしたところ、機械が機械側面にいた被災者の上に倒れて下敷きとなったものの。	30302	5	50～ 99
2012	9	15 ～ 16	荷主のプラットホームにおいて、被災者は単独で荷を乗せたカーゴコンテナをトラック荷台に積込作業中、プラットホームとトラック荷台との段差（約10cm）によりカーゴコンテナが倒れ掛り、カーゴコンテナを引いて積込していたことから、カーゴコンテナが傾き、倒れてきたカーゴコンテナとトラックの床に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。	40301	7	10～ 29
2012	1	19 ～ 20	事業場のストックヤード内で、パックヨーグルトをトラックから被災者1人で荷降ろし作業を行っていたところ、使用していたカゴ車が被災者側に倒れ、倒れてきた当該カゴ車のパイプにより頸部を圧迫され窒息死した。	40301	5	50～ 99

2012	11	5 ～ 6	工場敷地内において、労働者単独で、加工前の金属製材料の入ったケース約50個（1ケース重量約15kg）を積んだカゴ台車を、倉庫から工場建屋内に運搬する作業を行っていたところ、カゴ台車と工場外周の金網フェンスとの間に体を挟まれた。	11209	7	30～ 49
2012	12	3 ～ 4	被災者は新聞配達のため、自転車で販売所から自分の担当する配達先へ向かう途中、水路に自転車ごと転落した。	80205	17	10～ 29
2013	10	13 ～ 14	出荷のため、カゴ台車に机の天板（33kg）12枚をのせ、労働者2名で倉庫建屋からトラックに運ぼうとしたところ、カゴ台車が倒れ、カゴ台車を引いていた労働者がその下敷きになった。	80102	6	10～ 29
2013	6	21 ～ 22	被災者は、段ボールを積んだカゴ台車を足掛かりに備品を取ろうとしたところ墜落し、首にかけていたネクストラップが台車の支柱に引っかかって窒息した。尚、ネクストラップについては力が加わると外れるタイプであったが、長さ調節のため結び目を作っていたため外れなくなっていた。	80209	1	100 ～ 299
2014	8	19 ～ 20	自転車で帰局中、バランスを崩し、路側帯の下約2メートルの水田へ転落した。	110101	17	100 ～ 299
2014	3	8 ～ 9	被災者は、ロールボックスをトラックに乗せるため、同僚と二人で当該ボックスの両横を押す形で移動させていた。エプロンに設けられている傾斜路を下り方向に移動させていたため、スピードが出ないようボックスの前側に移動して押さえていたが、ボックスの前側の車輪がトラックのテールゲートに載ったところでボックスが傾き、倒れてきたロールボックスの下敷きになり死亡した。	40301	5	10～ 29
2015	5	0 ～ 1	4tトラックのパワーゲートを使用して、折りたたみコンテナを積んだカゴ車（重量約30kg/個）を積みおろし中、何らかの原因で荷室のカゴ車がパワーゲート上のカゴ車に倒れこみ、さらにそのカゴ車が倒れてくるところを被災者が避けた際、バランスを崩し仰向けに倒	40301	5	10～ 29

			れ地面に後頭部を打ちつけ、翌日脳挫傷により死亡した。			
2015	7	15 ～ 16	被災者は、重さ約15kgの肉のかたまりを30個つるした台車（縦100×横100×高さ160cm）を1人で引っ張って溝蓋（鋼製グレーチング）の上を通過しようとしたところ、台車が転倒し、頭部をはさまれ被災したものの。	10102	6	100 ～ 299
2015	3	11 ～ 12	社用払込のため近くのコンビニエンスストアへ徒歩で向かっていたところ、道路が渋滞していたため、被災者が信号機のない場所を横断し車の間を通り抜けた際、車両と歩道の間を走行していた帰宅中競輪選手の手自転車と出会い頭に衝突し、左側頭部を打撲・骨折。災害発生から10日後のH27.3.27、13:50死亡確認。	170209	17	10～ 29
2015	11	10 ～ 11	民家庭先の道路上に脚立を立てて、その上で剪定作業をしていた。そのとき道路を通行する自転車が脚立にぶつかり、脚立が倒れて転落した。その結果腰椎等骨折し入院していたが、5日後肺塞栓症で死亡したものの。	60101	17	1～9
2015	10	5 ～ 6	卸売市場内において、牛乳等を積み込んだロールボックスパレットをトラック荷台から保冷コンテナに人力で移す作業中、被災者がトラック後部のパワーゲートの端と保冷コンテナの入口との間の隙間に鋼製の道板を敷いてロールボックスパレットを引いていたところ、掛け渡していた道板が外れ、当該隙間に落ち、倒れたため被災者がその下敷きとなったものの。	40301	6	30～ 49
2016	1	15 ～ 16	客先より洗濯物を集荷する労働者が、集荷先駐車場に停めたトラックの後部扉を開いたときに、積荷であるロールゲージが倒れ落ちたため、トラック後部の倉庫壁とロールゲージに挟まれて圧迫死した。	11703	7	50～ 99
2017	12	14 ～ 15	被災者が、顧客先より所属事業場に帰るため、自転車にて下り坂を走行中、前方の道路上に停車していた自動車のドアが不意に開いたため、当該ドアと衝突した。	170209	17	300 ～ 499
2017	11	10 ～	集金業務のため、自転車で走行中、交差点横断歩道を渡った歩道で転	80205	2	10～

		11	倒し、頭部をアスファルトで強打した。			29
2017	8	18 ～ 19	被災者は、2トントラックの荷台上で、ロールボックスパレットを使用して、シートカバーの積み込み作業を行っていたところ、シートカバーを積んでいたロールボックスパレットの下敷きとなり、死亡した。	80409	6	1～9
2017	3	4 ～ 5	搬入のために上りスロープでロールボックスパレットを押していたところ、スロープを上りきる前にロールボックスパレットが倒れ、被災者はその下敷きになり死亡した。	40301	6	300 ～ 499
2017	1	12 ～ 13	強化指定選手である被災者が、ナショナルチームの合宿中において、他の選手7名と競技用自転車の練習中、緩やかな下りの右カーブを走行していたところ、中ほどにいた被災者が列から外れ、道路左側のガードロープに衝突し飛び越え、崖下に転落し死亡した。	170209	17	300 ～ 499
2018	11	21 ～ 22	被災者を含む2名の作業者が、トラックへの荷の積み込み作業を行っていたところ、カゴ台車が倒れ、カゴ台車の上の荷物（重さ約80kg×6個、長さ約3m）が被災者に激突した。カゴ台車の中には荷物は無く、上記の荷物をカゴ台車のわくの上に乗せているのみであった。	40301	5	50～ 99
2018	11	14 ～ 15	工場棟内で、被災者と同僚1名がロールボックスパレット（以下「台車」という。）で、住宅用ドアの部材となる合板を運ぶ作業を行っていたところ、当該台車が転倒し、被災者が下敷きになった。被災者は病院に緊急搬送されたものの、約1時間半後に「外傷性くも膜下出血」で死亡が確認された。	10409	6	100 ～ 299
2018	10	2 ～ 3	被災者は、自転車で朝刊配達中に道路の白線でスリップし転倒、鉄製の歩道柵に背中を打ち付けたが（災害発生前に雨が降り始めていた）、その後も痛さを我慢しながら配達を続け、路上で倒れているところを発見され、救急車で搬送された病院で死亡したものである。	80205	17	10～ 29
2018	6	22 ～	被災者は、退勤後から行方不明となっていたが、工場の敷地内にある水門の外側で浮かんでいるのを発見された。	30302	10	10～ 29

		23				
2018	1	8 ～ 9	工場内の搬出入口で、重量約2 tの半導体製造装置（高さ2.8 m×幅1.95 m×厚さ1.1 m）の搬出のため、最大積載荷重3,000 kgのハンドリフトで当該装置をジャッキアップしハンドリフトを右後方に引いたところ、当該装置が傾き、搬出の誘導作業を行っていた被災者が、当該装置の転倒方向に入り支えようとしたが、当該装置が倒れ、被災者が当該装置の下敷きとなったもの。	11305	5	10～ 29
2019	8	4 ～ 6	支店構内のトラックドックにおいて貨物自動車（最大積載量3,100 kg）の運転手が荷下ろし作業の準備のため、荷台左側のウイング及びあおりを開いた際、ロールボックスパレット（荷の重量425 kg）1台が荷台から飛び出し、被災者に当たって被災者が転倒し、後頭部をコンクリートの床に打ち付け受傷した。なお、被災者は1人作業であり、保護帽は着用しておらず、前頭部も負傷していた。	40301	4	1～9
2019	7	10 ～ 12	第一工場において、80トン油圧プレスを使用して鋼材の抜き加工中、被災者が鋼材束を乗せている台車を自身に近い場所に寄せようと台車を動かしたところ、台車がバランスを崩し鋼材束が被災者の腹部付近に落下し負傷したもの。	11203	4	30～ 49
2019	6	4 ～ 6	自転車で新聞配達をしていた被災者が、道路から約3 m下にある畑の水路脇で倒れているところを発見された。	80205	1	10～ 29
2019	3	12 ～ 14	センター内の休憩室において、被災労働者がデッキチェアの上で臥床していたところ、付近に置かれていたロールボックスパレットが被災労働者の上に転倒し、死亡したものである。ロールボックスパレットにはリネン用品が積載されていた。	11703	6	30～ 49
2019	2	12 ～ 14	被災者は配送先の工場への納品のため、4 tトラックを搬入口につけ、トラックの荷台にあるロールボックスパレットを下ろそうとしたところ、テールゲートリフター上でロールボックスパレットが倒れ、倒れてきたロールボックスパレットに被災者がはさまれたもの。	40301	7	10～ 29

2019	1	12 ～ 14	被災者は、配送先である介護施設にて、利用者の食事の空容器等が入った配膳カート（重さ約140kg）をテールゲートリフターで3tトラックに載せる作業中、配膳カート1台を積み終え、2台目を積みもうとしていたところ、何らかの要因で倒れ、当該カートの下敷きになった。	40301	6	100 ～ 299
2020	11	8 ～ 10	被災者は、配送先事業場の搬入口付近に4トントラックを停車させ、トラックの荷台に積んであったロールボックスパレットをテールゲートリフターで地上に下ろし、地上部から搬入口に敷いた合板上を移動させていたところ、地面と合板の間に生じた段差に当該パレットの車輪が引っ掛かったため倒れ、被災者が下敷きとなったもの。パレット上には、箱に入った飲料水（重量約300kg）が載せられていた。	40301	6	30～ 49
2020	6	6 ～ 8	被災者は、事務所に出勤後、同僚1名とともに、私物の自転車を運転し、警備対象の工事現場へ移動していた。事務所から約2.5kmの地点である川沿いの道路左側を北方向に走行中、突然、体勢を崩した被災者が左方向に転倒し、川に転落した。前日からの雨で増水していたため、被災者の姿はすぐに見えなくなり、その後、被災者の捜索活動が行われたが、翌日に被災者が発見され、死亡が確認されたもの。	170201	17	10～ 29
2020	3	6 ～ 8	パンの耳が入ったキャスター付きパレテーナ（約500kg）がトラックの荷室から落下し、キャスター付きパレテーナとプラットホームの間に被災者が挟まれたもの。病院にて治療を行っていたが、後日死亡した。	11709	4	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_05.html